

教育講演 4 講演概要

演題名	在宅医療における EBM 構築のための研究方法
-----	-------------------------

概要

根拠に基づいた医療は現代医学のひとつの柱であり、国際的には在宅医療領域においても多くの実証研究が行われている。我が国ではこれまでにどちらかといえば「理念」中心に展開されているが、今後、患者・家族の声を的確に反映させた展開をするためには実証研究に基づいた医療が重要になってくると考えられる。

今回の教育講演では、1) わが国のがん緩和領域で行われ国際的にも評価されてきた研究の方法論を共有するとともに、2) 国際的に行われている在宅医療・緩和ケアに関する研究の方法論を紹介する。あわせて、3) 在宅医療でおおきな領域である政策研究について、GP 制度を有するイギリスを中心に提示されている実証研究と政策決定を一致させた Morecare framework に関して簡単に紹介する。

具体的な内容は、1) としては、①日本人に適した終末期医療のアウトカム評価に用いられる尺度、②輸液やせん妄・看取りといった実証研究が難しい場面での研究方法、③介入・アウトカム関係が一对一对応しない complex intervention における研究方法論を述べる。2) としては、①在宅を含む薬物介入の比較試験、②ケアデリバリーの研究（退院前カンファレンス vs. 患者教育など）を中心に述べる。紹介する研究はすべて国際的な peer-reviewed journal に掲載された代表的なものに限定し、かつ、臨床的な観点からも理解しやすいものを選択する。

実証研究がその限界を含めて正しく理解され、臨床・施策に反映されることの一助になれば幸いです。